【授業科目】臨床細胞学演習　Practice of Clinical Cytology

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
白石 泰三、澤田 浩秀	３年次 後 期	選 択	1	30	演習	あり	巻末 掲載	可

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／細胞検査士養成課程を目指す者にとって、臨床細胞学総論ⅠおよびⅡを学修した上で、実際の細胞診標本について顕微鏡で観察を行う。本演習では、顕微鏡下で正常細胞および異型細胞、さらに異型細胞の中から良性および悪性細胞の特徴を観察し、それぞれの細胞を評価することにより、細胞診断が実践できる実力を身につけることを目的とする。具体的には、正常細胞、化生細胞、再生細胞、良性異型細胞、悪性細胞などの形態学的特徴とそれぞれの細胞との鑑別点が理解できること、婦人科系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、乳腺・甲状腺などの系統別に、各疾患における細胞像の形態学的特徴と、それぞれの細胞との鑑別点が理解できるよう指導する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／レポート提出を課した場合は、提出されたレポートにコメントを付けて返却する。
実務経験に関する 授業内容	細胞診専門医、細胞検査士の臨床経験をもつ教員が、臨床検査技師および細胞検査士として必用な臨床細胞学総論の知識について、臨床細胞学の資料・教材を交えながら実技指導を行う科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー①「臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①　正常細胞、化生細胞、再生細胞、良性異型細胞、悪性細胞などの形態学的特徴と、それぞれの細胞との鑑別点が理解できる。 ②　婦人科系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、乳腺・甲状腺など系統別に、各疾患で出現する細胞の形態学的特徴と、それぞれの細胞との鑑別点が理解できる。 ③　標本全体をスクリーニングし、異型細胞、悪性細胞を拾うことができる。
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	- 正常細胞、良性異型細胞、悪性細胞との鑑別点を良く理解できることが重要である。 - 細胞について写真撮影する際には、授業等で習得した重要なポイントを意識して行う。 - 毎回の授業に対する復習を必ず行うこと。 - １回の演習につき、30分程度の予習および60分程度の復習を行うこと。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	
第 1 回　細胞診標本判読の復習	白石、澤田
第 2 回　細胞判読の実践（正常細胞）	白石、澤田
第 3 回　細胞判読の実践（炎症性疾患による細胞像）	白石、澤田
第 4 回　細胞判読の実践（化生、再生細胞）	白石、澤田
第 5 回　細胞判読の実践（良性異型細胞）	白石、澤田
第 6 回　細胞判読の実践（悪性細胞①）	白石、澤田
第 7 回　細胞判読の実践（悪性細胞②）	白石、澤田
第 8 回　細胞判読の実践（悪性細胞③）	白石、澤田
第 9 回　細胞判読の実践（悪性細胞④）	白石、澤田
第10 回　細胞判読の実践（婦人科系細胞スクリーニング）	白石、澤田
第11 回　細胞判読の実践（呼吸器系細胞スクリーニング）	白石、澤田
第12 回　細胞判読の実践（消化器系細胞スクリーニング）	白石、澤田
第13 回　細胞判読の実践（泌尿器系・体腔液細胞スクリーニング）	白石、澤田
第14 回　細胞判読の実践（乳腺・甲状腺・その他細胞スクリーニング）	白石、澤田
第15 回　まとめ	白石、澤田

評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 演習ごとのレポート30%、実技試験30%、学期末試験40%		
教科書	『改訂新版 臨床検査技師を目指す学生のための細胞診』　医療科学社　※２年前学期「臨床細胞学総論Ⅰ」で使用したものと同じ	参考書等	『細胞診を学ぶ人のために 第６版』医学書院 『～基礎から学ぶ～細胞診のすすめ方第４版』　近代出版
学生への メッセージ	- 細胞検査士養成過程に進む学生にとっての基礎的科目であり、希望する学生は受講を必須とする。 - 細胞検査士養成過程に進む予定がない学生も、できるだけ多くの学生に受講を勧める。		